

いにしへの匠たち—ものづくりからみた飛鳥時代

平成26年度飛鳥資料館春期特別展

平成26年4月25日(金) → 6月15日(日)

期間中無休

■開館時間：午前9時から午後4時30分(入館は4時まで)

●記念座談会

「いにしへの技術を語る—現代の「匠」と考古学者—」

平成26年5月11日(日)午後1時30分から

脇田宗孝氏(奈良教育大学名誉教授)

小泉武寛氏(和銅寛)

松村恵司(奈良文化財研究所所長)

玉田芳英(奈良文化財研究所都城発掘調査部副部長)

●研究員によるギャラリートーク

平成26年4月26日(土)午後1時30分から

平成26年5月11日(日)午前10時30分から

平成26年5月24日(土)午後1時30分から



入館料・一般二七〇円(二七〇円) / 大学生二〇〇円(一六〇円) (内は団体料金 高校生及び十八歳未満は無料)

交通・近鉄・橿原神宮前駅 飛鳥駅から「かめバス(周遊)」で「飛鳥資料館」下車

近鉄・JR桜井駅から石舞台行バスで「飛鳥資料館」下車

主催・奈良文化財研究所飛鳥資料館 後援・近畿日本鉄道株式会社

奈良文化財研究所

飛鳥資料館

〒747-0291 奈良県橿原市飛鳥1-1-1

TEL 074-741-0101

FAX 074-741-0101

DESIGN BY FELIJA PHOTO BY TINOUE KURIVAMA

飛鳥資料館

文化力

飛鳥資料館 平成 26 年度春期特別展

いにしへの匠たち

—ものづくりからみた飛鳥時代—



漆塗りの道具（飛鳥池工房遺跡）



ガラスの原料・坩堝・鋳型（飛鳥池工房遺跡）



窯跡から出土した瓦（川原寺）

仏教が伝来した飛鳥時代は、文明開化ともいわれる変革の時代でした。巨大な瓦葺き建物や高層の塔、金色に輝く仏像、きらびやかな荘厳具などに象徴されるように、異国の仏教文化が、最新の知識や最先端の技術とともに飛鳥にもたらされました。

仏教文化の興隆と律令国家建設の進展にともない、首都飛鳥の地では、金・銀・銅・鉄などの金属製品をはじめ、土器・瓦などの窯業製品、漆製品やガラス製品など、さまざまな「ものづくり」がおこなわれました。

本展覧会では、飛鳥時代の工房遺跡から出土した考古資料を通して、いにしへの技術者一匠たちの技術体系に迫ります。飛鳥時代の「ものづくり」の技や知恵をご覧いただくとともに、復元製作実験の成果など、「古代と現代の匠の対話」もお楽しみください。

●春期特別展記念座談会

「いにしへの技術を語る - 現代の「匠」と考古学者 -」

日時：5月11日(日) 午後1時30分開演 会場：飛鳥資料館 講堂

脇田宗孝氏（奈良教育大学名誉教授）

小泉武寛氏（和銅寛）

松村恵司（奈良文化財研究所所長）

玉田芳英（奈良文化財研究所都城発掘調査部副部長）

※事前申し込み不要

●研究員によるギャラリートーク

研究員が展示の見どころを解説します

4月26日(土) 午後 1時30分～

5月11日(日) 午前10時30分～

5月24日(土) 午後 1時30分～

※事前申し込み不要

■ 展示期間

平成 26 年 4 月 25 日 (金) ～ 6 月 15 日 (日)

期間中無休

■ 時間

午前 9 時～午後 4 時 30 分

(入館は午後 4 時まで)

■ 料金

一般 270 円 (170 円) 大学生 130 円 (60 円)

高校生および 18 歳未満は無料

※ () は 20 名以上の団体

■ バス

- 近鉄 橿原神宮前駅、飛鳥駅から「かめバス(周遊)」で飛鳥資料館下車
- 近鉄・JR 桜井駅から石舞台行で飛鳥資料館下車
- 近鉄八木駅から(土・日・祝日のみ)「橿原市コミュニティバス」で飛鳥資料館下車

■ 駐車場

無料普通車 11 台分あり

(近くに有料駐車場あり)

■ 周辺地区



奈良文化財研究所

飛鳥資料館

〒 634-0102 奈良県高市郡明日香村奥山 601

TEL : 0744-54-3561 FAX : 0744-54-3563

<http://www.nabunken.go.jp/asuka>